

# JAMP information

## 『投稿！わがまち自慢の一枚』 大阪府河内長野市

大阪府河内長野市は、大阪府の南東部に位置し、奈良県と和歌山県に接しており、地域の約7割を森林に囲まれた自然豊かなまちです。

檜尾山観心寺と天野山金剛寺の2大寺院を中心に隆盛したことから、市内には多くの社殿やお堂、仏像などの中世の文化遺産が数多く残されており、まちじゅうで歴史を感じることができます。

また、京都と高野山（和歌山県）を結ぶ高野街道をはじめ、大沢街道や天野街道など幾つもの街道が市域で交わる交通の要衝であったことから、山城も築られました。

このような地域に伝わる文化遺産で紡いだストーリー「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」が文化庁に認められ、令和元年5月に日本遺産に認定されました。

寺社や地域によって中世から大切に守られてきた文化遺産を、是非、現地で体感していただければ幸いです。

表紙の「高野街道（酒蔵通り）」は、河内長野駅から徒歩5分ほどのところにある市内唯一の造り酒屋「西條合資会社」周辺の古い町並みで、杉玉が吊るされた伝統的な町屋が並ぶ石畳の道を歩くことができます。

令和4年には、幕末頃に建てられ、国の登録有形文化財に登録されている建物を活用した酒蔵直営ダイニングがオープンしました。風情ある店内で、大阪産の食材と酒蔵直営ならではの発酵食品や調味料を使ったお料理や、蔵出しの生酒が楽しめます。

ほかにも、地元産の農産物を使ったメニューを楽しめるレストラン・イートイン工房と、農産物直売所がある道の駅「奥河内くろまろの郷」や、関西で唯一の自転車テーマパーク「関西サイクルスポーツセンター」、大小さまざまな滝が点在する「滝畑四十八滝」など、河内長野市内には、豊かな自然環境を活かした観光スポットもたくさんあります。

歴史と自然あふれる日本遺産のまち河内長野市へ、皆様のお越しをお待ちしております。



「高野街道（酒蔵通り）」河内長野市



日本遺産アプリ  
中世へGO！



日本遺産PR動画



日本遺産  
「中世に出逢えるまち」ロゴ

※アカデミアでは、「広報の効果的実践」研修の修了生や自治体の広報担当者を対象に、キラリと光るふるさと自慢のフォトスナップを、表紙の写真として募集しています。詳しくは市町村アカデミー調査研究部043-276-3127までお問い合わせください。